

# 版表現の楽しみX

— 版を超えてゆけ —

※写真は全て過去の展示の様子です

2025.4.19. sat. ~ 5.11. sun.

総社吉備路文化館（岡山県総社市上林 1252 TEL: 0866-93-2219）

9:00~17:00（入館は16:30まで） 入館無料 毎週月曜休館

企画：岡山県立大学デザイン学部 関崎研究室

主催：総社市 後援：倉敷市教育委員会

「版表現の楽しみ」展は、岡山県立大学デザイン学部 関崎研究室が2016年から毎年開催しているシリーズ展です。様々なテーマで「版」による表現を追究するこの企画は、2017年の第2回目からは多くの版画コレクション（通称・森コレクション）を有する総社吉備路文化館との共同企画となりました。

以降、毎年テーマごとに、倉敷市立美術館版画講座や県立大学学生らの作品と、森コレクションの中から選んだ作品を併せて展示してきました。

そして今年、「楽しみ展」は第10回で最終回を迎えます。森コレクションからは、ジョアン・ミロ、中林 忠良、元永 定正らの作品を展示し、10年間の集大成として、改めて「版」とは何かを見つめ直したいと思います。

## 会期中イベント① アーティストトーク 「森コレクションと『楽しみ展』の10年」

◆日時：2025年4月26日（土） 11:00～ ◆参加無料 ◆申込不要

◆会場：総社吉備路文化館 2階 ガイドンス室

◆会場：本シリーズの企画者である、岡山県立大学デザイン学部 教授の関崎 哲（せきざき さとし）氏をゲストに迎え、これまでの展示をスライドで振り返るとともに、ギャラリートークを行います。

## 会期中イベント② 学芸員によるギャラリートーク

◆日時：2025年5月3日（土） 13:30～ ◆参加無料 ◆申込不要

◆内容：展示作品について、当館学芸員が解説します。



総社吉備路文化館